

情報提供日：平成30年9月14日

防災・減災日本一のまちづくり 気象防災アドバイザー酒井気象予報士の防災の授業 小学5年生が気象予報士から実験を通し気象を学びます（9/18）

防災・減災日本一を目指す龍ヶ崎市では、本市気象防災アドバイザーを務める**酒井重典気象予報士から小学生が気象を学ぶ授業「命を守るための気象の知識～空をながめて天気の変化を知ろう～」**を実施します。

本事業では、市内6小学校の小学5年生を対象に酒井気象予報士が積乱雲の雲の特徴、ひきおこす災害について子どもたちに授業を行います。

3年目の取り組みとなる今回は、**初めて実験形式を取り入れる予定**です。実験では、ペットボトル・炭酸キーパー・消毒液を使い、**雲が発生するメカニズムを子どもたちが体験**します。

今年度初めての授業で、**平成30年9月19日(水)に行う龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校での授業を報道各位に公開**いたしますので、取材方よろしくお願ひいたします。

■日時 平成30年9月19日(水) 午前10時35分～午後0時10分(予定)

■場所 龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校（所在地：龍ヶ崎市8810）

■詳細 **【本事業の取り組みについて】**

本市では、今年度も(株)ハレックス（東京都品川区）と気象防災アドバイザー業務委託契約を締結しております。その平常時の活動の一環として、酒井重典（さかいしげのり）気象予報士を講師に、小学生5年生を対象とした「防災の授業」を実施するものです。

【酒井気象予報士の講演に関するコメント】

今夏もまた台風や大雨の災害がありました。近年は雨の降り方が局地化、集中化、激甚化していると言われており、このような災害はいつでもどこでも起こりうることです。子供達には日ごろから空を眺め、気象の変化を敏感に感じてもらい、いざというときには、“自分の命は自分で守る”という意識を理解してもらいたいという思いで、お話したいと思います。

■参加者 ・龍ヶ崎市気象防災アドバイザー 酒井 重典 気象予報士
（(株)ハレックス所属 元 日本気象予報士会 会長）

・龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校5年生

担当課

龍ヶ崎市 危機管理課 危機管理政策グループ
担当者：橘原（きつはら）・小野瀬（おのせ）
連絡先：0297-64-1111（内線352）